

東京都放課後子供教室

東京都教育委員会では、青少年の問題行動の深刻化や地域の教育力の低下等の緊急的課題に対応するため、放課後や週末等に全ての子供を対象として、安全・安心な子供の活動拠点を設け、様々な体験活動や交流活動等の取組を推進するため「放課後子供教室」を全区市町村（離島を除く）で展開していきます。

事業の概要

- 学校の余裕教室や校庭等を活用して、放課後や週末等に実施しています。
- 区市町村が実施主体となり、コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーなどを配置しています。保護者・高齢者・大学生等のボランティアが活躍しています。
- 補助対象経費の1/3を国・都がそれぞれ支出しています。

「放課後子供教室」は着実に増えています。

平成19年度 38区市町 475教室
 平成20年度 46区市町 713教室
 平成21年度 47区市町 832教室（予定）

「放課後子供教室」は、月平均18.1日開催され、1日あたり55人の子供たちが、校庭・体育館・図書室等で活動しています。〔平成20年度10月（一ヶ月間）調査より〕

活動内容

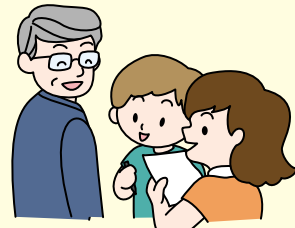
学び

予習や復習などの学習活動



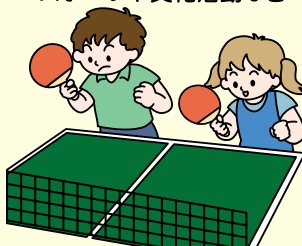
交流

地域の大人や異年齢の子供との交流



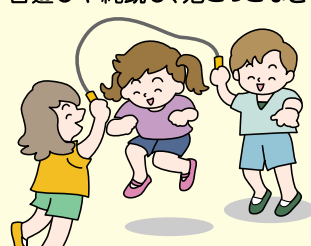
体験

スポーツや文化活動など



自由遊び

昔遊びや縄跳び、鬼ごっこなど



ピックアップ ～各地の放課後子供教室（平成20年度文部科学省表彰教室）

品川区

すまいるスクール第二延山放課後子ども教室

～遊びも学びも友だちといっしょ!放課後のみんなの居場所～

すまいるスクールでは、「勉強会」「教室」「フリータイム」を中心に、多様な事業を実施しています。

【勉強会】学校の授業と連携して、主に国語・算数の復習を行っています。

【教室】パソコン・野球など、体験的、趣味的活動やスポーツなどを地域ボランティアの協力で実施しています。

【フリータイム】宿題や読書、遊びやスポーツなど自由に過ごす時間です。

Sケン



杉並区

すぎっ子くらぶ

～「路地裏遊び」のチカラ～

体育館・校庭等をメインとした自由遊びを中心に活動しています。低学年の子供たちは、高学年の授業が終わるまで校庭で遊べないため、視聴覚室で宿題などに取り組みます。高学年の授業終了後に、自由遊びが始まります。そのほか週2回の英語活動、年に一回程度、元ラグビー日本代表の方を招いてラグビー教室を実施しています。

室内での自由遊び

